

ころんぶすりハビリ新聞

リハビリ
阿部太哉

川口ばやしと新春のみ比べ

明けましておめでとうございます。ころんぶすり療法士の阿部です。今年も、ころりハ新聞をよろしくお願ひいたします。今日は、どうしても書きたい記事があるので書かせていただきます。皆さんは、金田という町をご存知ですか？酒のみの

人は、「金龍」や「綿屋」と聞くと、ピンとくるかもしれません（笑）。有名な酒蔵が2つもあるんです。その金田には、小学校の時に習う「川口ばやし」という伝統芸能があります。笛や太鼓に合わせて踊る、金田小学校出身の人であれば、懐かしさを感じるお囃子ですが、その金田小学校は、数年前に廃校になってしまいました。今では、「川口ばやし」を知らない小学生が増えてきました。そんな中、「川口ばやし」の伝統の火を消さないために、川口ばやし保存会が守ってきました。一番の見せ場が、初舞です。1月2日に金田の町中を歩くパレードです。初舞の時には、川北神楽、八鹿踊りの方々と一緒にパレードを行います。この方々は、とても華やかで見ごたえがあるので、川口ばやしは、人数が集まらず、車からCDを流すだけで終わっていました。初舞も今年で51回目を迎え、さすがに、「CDで流すだけじゃちよっと物足りないよね。」とのことで、若い人たちが集めようと、僕たちに



声がかかりました。ありがたい話でしたが、迷いはありません。うまく出来るかな？普段会わない人達と一緒に出来るかな？「色々考えました。色々とやられました。パレードに出れば金龍と綿屋の新酒が飲めるぞ（笑）」。僕の不安は一瞬で消えました（笑）。酒のみの方々から分かりますよ？引き受けない方がもったいないです。だって、「金龍と綿屋どっちがおいしい？んん綿屋かな、僕は金龍かな？」という贅沢な飲み比べができる時間を正月から味わえるなんて最高です。初舞当日は、若



い人達が10名ほど集まり、懐かしさを感じながら、初舞へ花を添えることが出来ました。もちろん、金龍と綿屋の飲み比べもやりました（笑）。保存会の皆さんから、「今年の初舞は素晴らしかった、本当に良かった。」と、喜んで頂けて本当に良かったです。今回、参加して感じたのは、伝統芸能って、町づくりにはとても重要なことなんだなと思います。普段、顔を合わせることのない人達と話ができ、これが、町を盛り上げていく原動力になるんだなと感じました。そう考えると、伝統芸能を継続することは、町づくりにとつ



ては欠かせないし、絶対に火を灯しつづけるべきなんだなと強く感じました。とは言っても、金龍と綿屋のお酒が付いてこない、こままでモチベーションは上がりませんけどね（笑）。いずれにしても、伝統芸能ってなんかいいですね。みんなが集まって、練習して、パレードに出て、お酒飲んで、結構楽しめそうです。もし、一緒にやってみたい！という方がいらっしゃいましたら、僕にお声掛け下さいね、大きい声では言えませんが、「川口ばやしと一緒にやると、金龍と綿屋の飲み比べができるらしいですよ（笑）」。阿部